

信用金庫の貸出金利息と経費の関係

2025
プランニング

ポイント

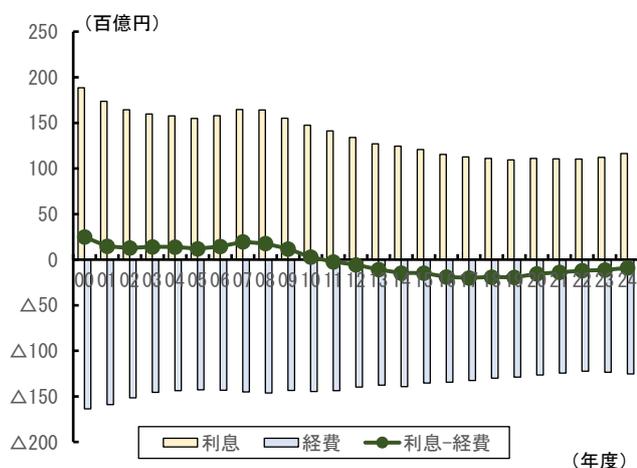
- 信用金庫の貸出金利息と経費の推移をみると、2011 年度以降、貸出金利息で経費を賅えない状況が続いている。
- 足元で貸出金利息は増加に転じたものの、経費も上昇局面に入っており、貸出金利息で経費を賅える収益構造への回帰には時間を要しよう。
- 取組時の検討ポイントは、①自金庫収益構造を踏まえて、②利息収入の増強策と、③経費の削減策の組合せ方の検討などとなる。
- 研修受講金庫の取組事例をみると、貸出金利息で経費を賅い続けるための営業体制をより強く打ち出した信用金庫があった。

(注) 本稿は、当研究所主催「経営戦略プランニング研修（2025 年度&経営層向け）」等の意見交換で得た情報をもとに作成している。

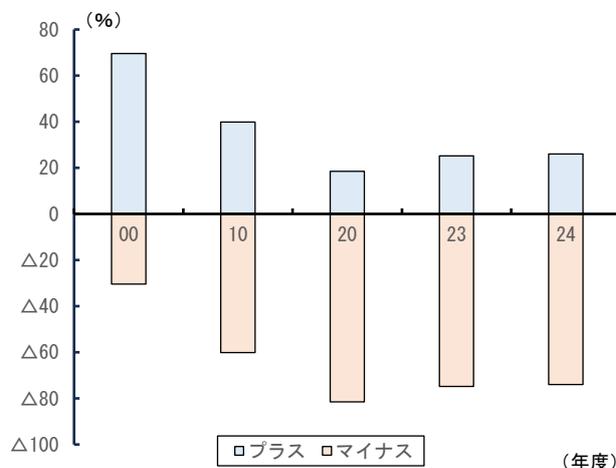
1. 貸金利息と経費の関係

かつての信用金庫の収益構造を振り返ると、本業である貸出金利息で人件費や物件費を賅うスタイルが一般的だった。ところが低金利政策に伴う貸出金利回りの低下を要因に貸出金利息が減少、2011 年度以降、貸出金利息で経費を賅えない「マイナス状況」に陥っている（図表 1）。信用金庫別にみても、2000 年度には 3 割だったマイナス金庫（貸出金利息<経費）の割合は、2024 年度には 74.0%（188 金庫）に達した（図表 2）。

（図表 1）貸出金利息—経費の推移



（図表 2）信用金庫別の貸出金利息—経費のプラス・マイナス割合



（備考）1. 図表 1 の経費および図表 2 のマイナス金庫はマイナス表記
 2. 図表 1 から 3 まで信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

2. 改善への取組み

足元をみると、2024年3月のマイナス金利政策の解除で「金利のある世界」が到来し、信用金庫の貸出金利息は増加に転じた。一方で預金保険料の減少と職員減に伴う人件費の減少が経費削減要因であったこと、インフレ経済に転じたことなどを勘案すると、これ以上の経費削減は難しいと考えられる。そのため、貸出金利息で経費を賄えるような収益構造への回帰には相応の年数を要すると考えられる。

3. 取組時の留意点

取組時の検討ポイントは、①自金庫収益構造を踏まえて、②利息収入の増強策と、③経費の削減策の組合せ方の検討などとなる。まずは取り巻く内外環境などを勘案のうえ、自金庫に最適な収益構造を決めて臨む必要がある。そのうえで、自金庫に最適な収益の組合せを考え、それに見合った営業体制などに転換していく。経費削減については、BPR推進などで生産性を高めるなか実現していくことが望まれる。

4. 研修受講金庫のコメント

当研究所が主催する「経営戦略プランニング研修（2025年度&経営層向け）」等の意見交換時に聴取した研修受講金庫の主なコメントは**図表3**のとおりである¹。

（図表3）研修受講金庫のコメント

- 現状は利息で経費を賄えている。当金庫は収益力が高い一方で、コストもかかっているため、貸出金利回り2%以上は必要である。
- 当金庫は預かり資産の推進に消極的で、事業性融資の推進に注力してきた。現在、貸出金利息で経費を賄っており、今後の金利上昇局面を考えると、より預貸金ビジネスに特化したビジネスモデルを追求する方が正しいと考えている。
- 当金庫は顧客接点を確保するため低金利の住宅ローンを推進している。結果、地域で最も利回りが低く貸出金利息で経費を賄うのは難しい状況にある。当金庫は、不足する収益は市場運用で賄うと割り切っている。
- 預金セールスへの回帰もあり、預かり資産の目標ウェイトを引き下げた。手数料収入の減少は貸出金利息の増強でカバーする考えである。
- 当金庫は構造改革によりこの10年で職員数が大きく減少した。人件費の減った分で業務効率化のための各種システム投資を行えたので業務の生産性が高まり、収益性も改善した。経営合理化に目途が付いたので、今後は稼ぐ力の強化となる。
- 当金庫は、1.5%の固定金利貸出が非常に多い。当金庫職員も顧客も低金利に慣れてしまい、貸出金利息で経費を賄えるようになるには数年を要するだろう。

本レポートは発表時点における情報提供を目的としており、文章中の意見に関する部分は執筆者個人の見解となります。したがって、投資・施策実施等についてはご自身の判断をお願いします。また、レポート掲載資料は信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は予告なしに変更することがありますのでご注意ください。

¹ 信用金庫のコメント等は研修受講者の個人的な意見・感想を含むものであり、受講金庫の正式なコメントではない。そのため事例の記載にあたっては信用金庫名が特定できないように修正してある（個別信用金庫名や詳細資料の提供依頼にはお応えしていません）。

経営戦略プランニング研修（2025年度）

関連レポートのご案内

営業推進

このほかにも、
信用金庫経営に関する様々な情報を発信していますので、
当金庫 HP からご覧ください！

当研究所 HP トップ : <https://www.scbri.jp/>

関連レポートは
こちら



No.	発行日	タイトル
2025-13	2025/4/17	信用金庫の集金専担の活動状況
2025-15	2025/4/30	信用金庫のF S Tによる渉外営業力の強化
2025-16	2025/4/30	信用金庫のアウトバンドコールによる消費者ローンの推進
2025-112	2026/1/19	信用金庫の預金セールスの変化
2025-124	2026/2/9	信用金庫の預金セールスチャネル
2025-125	2026/2/9	信用金庫の個人メイン化基準の設定
2025-128	2026/2/13	信用金庫の給与振込口座の取扱い
2025-129	2026/2/13	信用金庫の年金受給口座の取扱い
2025-130	2026/2/13	信用金庫の法人預金の取扱い
2025-131	2026/2/16	信用金庫の相続手続き効率化策
2025-132	2026/2/16	信用金庫の相続預金の流出防止策
2025-133	2026/2/25	信用金庫の預貸率の変化